

# 臨床研究に関するお知らせ

## 研究課題名：「上顎亜全摘後に対する遊離組織移植の研究」

大分赤十字病院歯科口腔外科では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象に該当される可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合がございます。下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

### <研究目的・方法>

上顎癌の手術で上顎を大きく切った場合には、鼻と口が繋がった状態になり、会話や飲み込みが困難になることがあります。特殊な入れ歯で、穴をふさぐ、治療が行われてきましたが、近年手術技術の向上により、他の場所（手や足など）から組織を移植することが可能になり、義歯なしでも、会話や飲み込みができるようになっていきます。

当院では組織の移植手術による上顎癌の治療をおこなっており、当院での結果を検証、報告し、よりよい治療を広めること、また当院の治療をさらに良くすることを考えています。

### <研究期間>

施設許可日～2022年3月30日

### <研究対象となる方>

2011年1月1日以降に当院で上顎の腫瘍で再建手術を行った症例。

### <ご協力いただく内容>

上記対象期間中に記載された診療情報（初診日、性別、初診時年齢、治療終了日、予後、レントゲン、CT、写真（個人を特定出来ない形にして）等）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報データを厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### <研究参加について>

研究への参加を希望されない場合、その方の情報を研究における解析に利用することはありません。研究への協力の可否に関わらず、患者さん個人を特定できるような情報が外部に漏れることがないように情報を匿名化を行った上で、厳重に管理致します。

### <研究組織共同機関>

埼玉医科大学国際医療センター

### <利益相反について>

当院においては、大分赤十字病院倫理審査委員会の審査を受け適切に管理されています。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

<研究計画書の入手・閲覧方法・手続き等>

患者さんのご希望により、この研究に参加していただいた方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。閲覧を希望される方は、追って公開するホームページなどの情報をご確認ください。

<個人情報の開示にかかる手続きについて>

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を各医療機関の規定に則った形でご覧頂くことが出来ます。

<当院の研究責任者>

大分赤十字病院歯科口腔外科 平井英治

<お問い合わせ先>

大分赤十字病院 歯科口腔外科 研究責任者 平井英治